

研究・調査報告書

報告書番号	担当
549	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Alcohol intake and risk of incident psoriasis in US women: a prospective study. 米国女性におけるアルコール摂取と乾癬発生リスク：前向き研究	
執筆者	
Qureshi AA, Dominguez PL, Choi HK, Han J, Curhan G.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Arch Dermatol. 2010 Dec;146(12):1364-9.	
キーワード	
女性、乾癬、Nurses' Health Study、コホート研究	
要 旨	
目的： アルコールの消費量と乾癬発生リスクとの独立した関連性、およびアルコール飲料のタイプの違いとリスクに関連があるかを評価する。	
研究デザイン： 1991年から2005年まで追跡した女性看護師を対象とした前向き研究。	
設定： Nurses' Health Study II, 1991年に27から44歳のアメリカ女性116,671人のコホート。	
対象者： 研究対象集団は、隔年実施されるアンケートでアルコール摂取量と種類を報告した82,869人の女性である。我々は1991年前に乾癬歴をもつ対象者を除外した。 主要なアウトカム指標：医師が診断した乾癬の自己報告。感度解析のために、我々は確認された乾癬例の一部を使用した。	
結果： 乾癬例の1150例のうち、分析には1,069例を使用した。アルコールを飲んでいない女性と比較して、2.3 ドリンク/週以上のアルコール消費する人では、乾癬リスクは多変量相対リスク (RR) で1.72 (95%信頼区間[CI]、1.15-2.57)であった。アルコール飲料の種類を調べたところ、乾癬と nonlight ビール摂取量には関連があり (1.76 ; 95%CI : 1.15-2.69 ; ≥5 ドリンク/週)、ライトビール、赤ワイン、白ワイン、リカー類では有意な癬リスクとの関連は見られなかった。確認された乾癬症例の一部による解析では、nonlight ビール摂取との関連は2.29 と強かった。(95%CI、1.36-3.85 ; ≥5 ドリンク/週) のサブセットに強くなった。	
結論： Nonlight のビール摂取が女性の乾癬発生リスクの増加と関連していた。本研究では、他のアルコール飲料は乾癬リスクを増加させなかった。	